

プレスリリース

2024 年 7 月 24 日

2024 年度のヴィラ九条山レジデント：選考結果発表

選考委員会は、2024 年 6 月 20 日に集まり、17 名のアーティストによる 14 つのプロジェクトを選考しました。合格者は 2025 年、4 ヶ月から 6 ヶ月間滞在することになります。

- ・ アガット・シャルネ: 演劇 (5 か月間)
- ・ セザール・ドゥバルグ: 造形美術 (4 か月間)
- ・ レジス・フルリー: 工芸 (5 か月間)
- ・ マルク・ジェフリオ: 造形美術 (6 か月間)
- ・ マクシム・マリオンとエミリー・ブルー:
デジタル・アート (4 か月間)
- ・ ドミティーユ・マルタン: ストリートパフォーマンス/
サーカス/マリオネット (4 か月間)
- ・ テオ・ムザールとマリーヌ・ロワイエ: 建築
(4 か月間)
- ・ デルフィン・パニック: バンド・デシネ
(4 か月間)
- ・ モナ・オレン: 工芸 (5 か月間)
- ・ マエル・ペノ: 音楽 (4 か月間)
- ・ マルタン・プランショ: 料理研究 / ガストロノミー (5 か月間)



- ・ グレゴール・シャレールとダリュス・ドラティアリ＝ドラドゥスト：ダンス（4 か月間）
- ・ ヴァンサン・トゥセ＝アンレス：デザイン（4 か月間）
- ・ マリオン・ヴィダル：ファッション（5 か月間）

2025 年の募集は、フランス人やフランス在住 5 年以上のアーティスト、またはフランス人やフランス在住 5 年以上のアーティストと 2 人組の日本在住の日本人アーティストを対象に行われました。今年は、初めてデュオとビノムに関しては、アートと科学分野にもご応募をいただきました。

今年の応募は、250 件に制限され、293 人のアーティストやクリエイターが応募しました。

選考委員会は、以下のメンバーで行われました。

- ・ ヴィラ九条山館長
- ・ アンスティチュ・フランセパリ本部レジデンスプログラム部および分野専門家
- ・ フランス文化省の分や専門家
- ・ アンスティチュ・フランセの分野専門家
- ・ フランス及び日本を拠点とする各分野の専門家 ([リスト](#))

ヴィラ九条山の**アデル・フレモル**館長を審査委員長とする日仏最終選考委員会は、以下のメンバーで構成されました：

- ・ シャルランリ・ブロソー（フランス大使館 文化参事官）及びサンソン・シルヴァン（フランス大使館 文化担当官）
- ・ マリーヌ・デマイー（ヨーロッパ・外務省 文化・メディア担当筆者）
- ・ デルフィン・フルニエ（文化省 造形美術担当）
- ・ クロエ・フリクー（アンスティチュ・フランセ レジデンスプログラム部主任）とジュリー・フェリフ（アンスティチュ・フランセレジデンス担当者）
- ・ 説田礼子（エルメス財団キュレーター）
- ・ 副島 綾（舞台芸術アドバイザー）

欠席：ニコラ・ヴェルニオ（文化省 創作主査）及びコリーヌ・サンテュー（文化省 造形美術経済担当）

全レジデントの肖像画と日本での研究プロジェクトは、ヴィラ九条山とアンスティチュ・フランセのウェブサイトで、近日中にフランス語と日本語で公開される予定。

ヴィラ九条山の 2026 年度レジデンスプログラムの募集は、2025 年上旬頃に開始します。

また、「手の賢さにささげるリリアン・ベタンクール賞®」受賞者 2 名が、ヴィラ九条山に 1 ヶ月間滞在することになりました。

- ギヨーム・ルウ（デザイナー）
- クリスティン・マッカーディー（陶芸家）



ヴィラ九条山

ヴィラ九条山は、フランスのヨーロッパ・外務省の文化機関です。アンスティチュ・フランセの支部の一つとして活動し、主要メセナのベタンクールシュエーラー財団とアンスティチュ・フランセの支援を受けています。

アンスティチュ・フランセ

海外に向けたフランスの文化活動を推進する公的機関の一つで、多様な芸術分野、知的交流、文化と社会のイノベーション、語学交流を網羅しています。世界に向けて、フランス語や芸術作品、アーティスト、思想を発信しつつ、それらのより深い理解を目指しています。

当機関はフランス外務・国際開発省管轄と文化・通信省管轄のもと、ソフトパワー外交に積極的に貢献しています。各地域に根ざしたプロジェクトとプログラムは、五大陸に存在する仏大使館の文化部、アンスティチュ・フランセ、アリアンス・フランセーズのネットワークを通して比類なく展開されています。

ベタンクールシュエーラー財団 - 「才能に翼を」

ベタンクールシュエーラー財団は、家族財団であり、1987 年の設立以来、公益財団として認められています。フランスの成功と影響力に貢献するために「才能に翼を与える」ことを目標としています。

財団の活動は次の三つの主要分野にまたがっています：生命諸科学、芸術、社会的分野。

そのために財団は賞金を授与し、寄付金によって様々なプロジェクトを支援し、それぞれの必要に応じて高度に個別化された協力活動を提供しています。1987 年創立以来、ベタンクールシュエーラー財団は、647 人を受賞支援し、様々なチーム、協会、機関、組織などによる 1300 以上のプロジェクトを支援してきました。

更に詳しい情報は以下のサイトをご覧ください。

更に詳しい情報は以下のサイトをご覧ください。

www.fondationbs.org | Twitter : @Fondation_BS | Instagram : @fondationbettencourtschueller | Facebook : @BettencourtSchuellerFoundation | #TalentFondationBettencourt.

問い合わせ先

カミーユ・レ

広報担当

T 075-752-7173

camille.le@institutfrancais.jp

ヴィラ九条山

〒607-8492 京都市

山科区日ノ岡夷谷町 17-22